

# 平成20年度長崎県青年問題研究集会

みんなで育もう未来の長崎 ～一人ひとりが地域の主役～

- 目的 地域に住む若者の生活の中にある問題と閉塞感を打破するために、様々な想いをを持った若者が集い語りあいを通じて解決策を見つけることを目的とする。若者が当事者として語り合い、新たなネットワークを構築し相互に学習することによって互いの資質を向上させ、一人一人が地域の主役になれるように経験を蓄積することを目指す。
- 主催 長崎県青年団連合会
- 日時 2009年1月31日(土)～2月1日(日) 受付開始14:00
- 開催場所 国立諫早青少年自然の家(〒859-0307 長崎県諫早市白木峰町1109-1)
- 募集人員 30名
- 参加費 3,000円(食事代・保険代・シーツ代・交流会費を含む)  
交通費は、自己負担でお願いします。  
諫早駅から、当日の送迎バスを運行します。
- 対象 (1) おおむね18才～35才で、長崎県内を舞台に地域に密着して活動をしている青年層  
(2) 上記を支援したり、協働・連携して活動する社会教育・生涯学習関係者、NPO関係者、大学生、学校教職員、起業・就業支援者、家族形成と子育て支援者 等
- 申込方法 別紙の参加申込書により、長崎県青年団連合会事務局へ、郵送・FAX・持参・メールでお申込ください。
- 締切 2009年1月23日(必着)
- 準備品 宿泊用具(着替え・洗面等)、筆記用具
- 基調講演 「地域の主役としての若者のあり方」  
講師:板本 洋子 氏 財団法人日本青年館結婚相談所



1985(昭和60)年より「結婚問題スペシャリスト講座」、1997(平成9)年より「全国結婚研究会議」など農村の嫁不足問題や、自治体の結婚支援に関するシンポジウム、研究集会の企画・開催を手がけておられます。男女の出会いの場づくりやイベントの企画・開催したり、「農村結婚問題・国際結婚」「結婚観」「自治体結婚支援の実態」の調査、研究活動にも積極的に参加されておられます。著書に『追って追われて結婚探し』(新日本出版社、2005年)など。

- 実践報告 「離島における青年団活動」(予定)  
「若者による若者達の出会いの場づくり」(予定)  
「スポーツ大会を開催して」(予定)

- 分科会 予定しているテーマ  
「青年活動について」(仮)  
「若者の就職問題について」(仮)  
「結婚・恋愛について」(仮)

【お申し込み・お問い合わせ】

〒850-0025 長崎市今博多町12番地 長崎県青年会館内  
長崎県青年団連合会 (担当:森山・中川・大神)  
TEL 095-825-3011 FAX 095-818-6546 Mail nyuteam@gmail.com

## 長崎県青年問題研究集会 日程表

1月31日(土)		2月1日(日)	
時間	内容	時間	内容
14:00 ~	受け付け	7:00 ~	朝のつどい 食事
15:00 ~	開会式	8:00 ~	帰宅準備
16:00 ~	基調講演 「地域の主役としての若者のあり方」 講師:板本 洋子 氏	9:00 ~	分科会2 「青年活動について」(仮) 「若者の就職問題について」(仮) 「結婚・恋愛について」(仮)
17:00 ~	実践報告	11:30 ~	分科会報告 閉会式
18:00 ~	食事		
19:00 ~	分科会1 「青年活動について」(仮) 「若者の就職問題について」(仮) 「結婚・恋愛について」(仮)		
21:00 ~	懇親会		
23:00 ~	就寝		

### 備考

1月31日について

開会式開始15分前には受け付けを済ませてください。

14:00に諫早駅より国立諫早青少年自然の家へバスが出発します。

2月1日について

12:30に国立諫早青少年自然の家から諫早駅へバスが出発します。

# 長崎県青年問題研究集会申し込み

平成20年度長崎県青年問題研究集会に参加します。

名前	
年齢	
所属団体	
住所	
電話番号	
E-mail	

以下は分科会等の参考にしますので、お応えください。

1. あなたは現在、仕事以外で活動を行っていますか？

- ・はい 具体的に:( )
- ・いいえ

2. あなたが話し合ってみたい分野に をつけてください。(複数回答可)

- ・少子化
- ・就職、転職、起業
- ・ボランティア活動
- ・環境問題
- ・地域づくり
- ・平和
- ・治安、防災
- ・その他( )
- ・スポーツ
- ・文化
- ・結婚
- ・高齢化
- ・学業
- ・外交、国際問題
- ・男女共同参画
- ・芸術
- ・NPO
- ・人権
- ・金融
- ・労働
- ・福祉
- ・子育て

3. 自己紹介など自由に記入してください

4. 諫早駅から国立諫早青少年自然の家までの送迎を希望しますか？

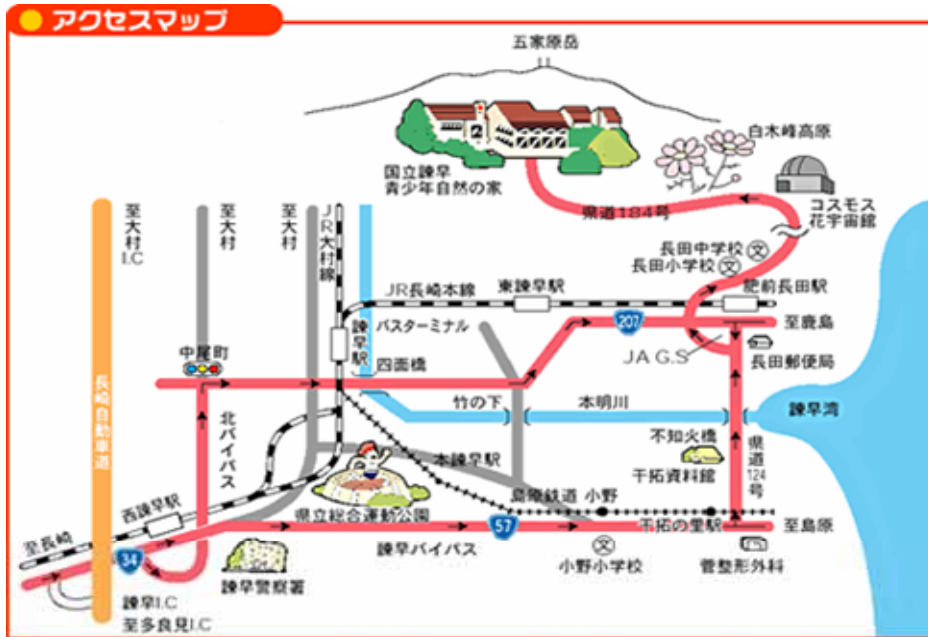
(1) 希望する (2) 希望しない

## 連絡先

長崎県青年団連合会 (担当: 森山・中川・大神)  
〒850-0025長崎県長崎市今博多町12番地  
TEL: 095-826-3011  
FAX: 095-818-6546  
e-mail: nyuteam@gmail.com

2009年1月23日までにお申込をお願いいたします。

会場： 国立諫早青少年自然の家 (〒859-0307 長崎県諫早市白木峰町1109-1)



**車利用の場合**

- ・JR諫早駅～自然の家 約30分(約13km)
- ・JR肥前長田駅～自然の家 約15分(約8km)
- ・長崎自動車道諫早IC～自然の家 約40分(約16km)
- ・多比良町～自然の家 約50分(約35km)

**定期利用の場合**

- ・諫早駅前県営バスターミナル～自然の家 約40分(約13km)

講師：板本洋子さま関連報道(平成20年12月17日：長崎新聞)

長崎新聞 2008年(平成20年)12月17日 水曜日

## 自治体が「婚活」お手伝い



「くんま赤い糸プロジェクト」に参加した婚活中の未婚男女  
—群馬県前橋市

**話題**

ある土曜日、前橋市のホテルのパーティー会場。未婚の男女五十二人が一対一で向き合い、仕事や趣味を初対面の相手に熟知自己アピールしていた。群馬県がこころ始めた結婚支援事業「くんま赤い糸プロジェクト」の三時間後には十三組のカップルが誕生した。

**需要高まる一方**  
国勢調査(二〇〇五年)によると、二十代前半の男性の約47%、女性の約32%が結婚をしていないと増えている。

経済産業省の研究会が〇六年にまとめた報告書によると、民間の結婚相談・結婚情報サービス業

**パーティーや講座、仲人：**

だが、国立社会保険人口問題研究所の調査(〇五年)では、十八歳から三十四歳の未婚の男性の87%、女性の90%は「いずれ結婚するつもり」と回答した。結婚できない理由は「適当な相手に巡り合わない」が最も多い。参加した前橋市の団体職員男性(三)は「相手を探そうにも、職場に女性が少ない出会いがなかった。こういう機会があったらいい」と増えている。

### 「個人の自由」と疑問の声も

自治体が支援に力を入れる背景にあるのは、少子化による労働力人口の減少と経済成長率の低下への危機感だ。「子ども同士が触れ合う機会が減るのでは」(群馬県)との懸念もある。

しかし、行政の支援には疑問の声も。佐賀県は「成果が目に見えない」として〇四年、県主導の取り組みをやめた。「民間業者のサービスが充実している、結婚は個人の自由で、行政が立ち入るべきか」と話す自治体もある。

「自治体は民間にはできない取り組みが求められる」と指摘するのは、長年出会いの場を企画してきた日本青年館結婚相談所の板本洋子専門相談員(女)。例えば農業体験でその地域ならではのイベントを開き、結婚後の生活を想像させるやり方もある。ただ男女が出会って終わりではないようにつなげる工夫が必要だ」と提案している。

奈良県では月二十回もイベントを開き、岐阜県や福井県、山梨県は身だしなみや会話のマナーを教えるスキルアップの講座を開催。鹿児島県はボランティアの活動員が相手を紹介し合う仲人型だ。民間業者に委託しているケースもある。

自治体では月二十回もイベントを開き、岐阜県や福井県、山梨県は身だしなみや会話のマナーを教えるスキルアップの講座を開催。鹿児島県はボランティアの活動員が相手を紹介し合う仲人型だ。民間業者に委託しているケースもある。

月30回イベント

奈良県では月二十回もイベントを開き、岐阜県や福井県、山梨県は身だしなみや会話のマナーを教えるスキルアップの講座を開催。鹿児島県はボランティアの活動員が相手を紹介し合う仲人型だ。民間業者に委託しているケースもある。